

平成30年度の重点目標達成に向けたテーマ及び具体的な取組（学年・分掌版）

学年・分掌名： \_\_\_\_\_ 総務部

記入者氏名： \_\_\_\_\_ 高橋 直樹

**本年度の重点目標**

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

**\* 実践指針**

すべての教育活動において「追究姿勢の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

**\* 具体的な手立て**

**（今年度、重点的に取り組む番号に○印 複数可）**

- 1 多様な能力を活用する授業等を通して学力の向上を図る
- 2 各種追究活動を通して自己啓発の意欲と追究姿勢の強化を図る
- 3 深い生徒理解を基盤として自己実現を支援する
- ④ 社会貢献活動等を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図る
- 5 部活動など特別活動の活性化を通して豊かな人間性を育む。
- 6 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成を図る

月	<b>各学年・分掌のテーマ及び具体的取組の作成及び実践</b>
4   9 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 120周年記念式典を成功に導き、学校の士気を高め、生徒の学校への愛着をいっそう深めさせる。</li> <li>・ 入学式・卒業式・始業式・終業式などの各儀式の円滑な実施、運営と内容の充実を図る。</li> <li>・ PTA・同窓会・地域社会との連携・相互理解を深め、核活動への積極的参加と活動内容の充実を図る。</li> </ul> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同窓会との連絡を密にし、事前の準備を早めに取りかかる。</li> <li>・ 儀式参加の意欲を高めるための声かけ、アドバイスの工夫を図る。(放送連絡や入場順の検討)</li> <li>・ 卒業式前の歌唱練習や答礼練習の強化を図る。</li> <li>・ 儀式についてのアンケート実施と活用。</li> <li>・ 避難所開設を見越した地域参加型避難訓練の継続。メールによる安否確認の訓練の実施。</li> </ul>
10 月	<p style="text-align: center;"><b>各学年・分掌のこれまでの実践に対する検証</b></p> <p>(検証結果)</p> <p>(120周年関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創立120周年記念式典を挙げるに当たり、校内実行委員会が総務部員を中心となって組織されていたので運営がやりやすかった。美入野会との協力、他分掌(体育科、特活部、進路指導部等)との連携が必要不可欠であった。それにより学校全体の周年行事にかける気運の高まりがあった。</li> <li>・ 生徒会執行部、受付生徒、1年部を中心とした会場作り、放送部、吹奏楽部、など各所で生徒が活躍できる場面があり、意欲的に取り組んでくれた。</li> <li>・ 記念式典、講演会、各招待試合、芸術鑑賞教室、などの行事によって、生徒に横手高校の歴史ある伝統の中にあることを実感させられたと思う。</li> <li>・ 職員向けアンケートを実施し次のような反省をいただいた。～キャッチフレーズの示し方にもう一工夫。タイムテーブル通りに進行できるように再考を。次回用に資料を整理する。受付と来賓誘導がもっとスムーズになるよう工夫を～。</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月に地域住民の参加による避難訓練を計画している。その際、防犯に関する講話会を企画し、最近頻発している声かけ事案への対策としたい。</li> </ul>

## 検証をふまえた改善のための実践及び次年度に向けて

10  
|  
2  
月

(改善のための具体的取組)

- ・120周年記念行事も終わり平常の学校生活に戻ったが、式典への外部の評価は概ね好評とのものであった。今後も拡張の高さを維持しつつ、日常の生活の中にも学校に愛着を持ち、伝統を引き継いでいける生徒になってほしいと願う。
- ・PTA 行事への参加率は例年通り高かった。とくに会長、副会長には多くの事業に参加いただいた。多忙な中積極的に PTA 活動に参加いただいて感謝したい。PTA 会報等での紹介を掲載できた。あいさつ運動の参加率は例年並みであった。
- ・全校集会時の整列指導は行ったが、さらに時間を短縮できる余地はあるように思える。卒業式等では階段等での指導も取り入れて改善していきたい。
- ・奨学金関連の事業については円滑に運営されている。
- ・地域住民参加型の避難訓練は例年通り行った。水害等の天災が身近で起きているので今後参加率をもっと高めていきたい。
- ・センター試験準備は昨年度からの新たに入った業務であったが支障なく行えた。
- ・次年度の行事検討は儀式、考査の時期を早めに検討したこともありスムーズに進められた。
- ・卒業式関連の計画立案や保護者への案内を昨年より早めに進めた。卒業式前に定期考査や国公立大前期入試と重なる時期を支障なく乗り切りたい。

(次年度に向けて)

- ・保護者アンケートから校内の環境整備改善についての多くの声が寄せられた。月初めの安全点検をこれまで以上に強化したい。
- ・PTA 関連の行事、事業の見直しを図りたい。(会議次第、事業報告の仕方、研修参加の人选方法、講演会等の企画の立ち上げ)

## (外部評価) 2月26日(火) 学校評議員会・学校評価委員会の評価

総務部 評価はA

- ・創立120周年記念のイベントは生徒、同窓会、教職が一体となって取り組み、ほぼ初期の目標を達成することができたと思います。お疲れ様でした。
- ・周年行事や式典に関する生徒への指導御苦労様でした。
- ・創立120周年記念式典は荘厳な雰囲気の中で、美入野の伝統を感じさせる素晴らしい内容でした。生徒の皆さんも一生の思い出となる1日であっただろうと思います。学校関係者、生徒、美入野会のご努力に感動しました。
- ・素晴らしい校歌斉唱、応援に向かう姿に横高生の成長を感じました。
- ・120周年という機会を十分に生かし、コミュニティの中の横手高校、そして自分というものを実感できたと思います。